

平成 27 年度 第 3 回理事会

平成 27 年（2015 年）度 第 3 回理事会議事録

I. 日時：平成 27 年 11 月 12 日（木） 19：00～20：40

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事：錠内、澤口、福留、作田、野本、吉本、遠藤、内山、鴻井、神保、村越
計 11 名

欠席理事：中西、奥原、野々垣、木村、鈴木、名古屋、佐藤 計 7 名

出席監事：清宮、田中

欠席監事：なし

その他：金山・池田・大郷・井戸川（事務局：書記）

IV. 議長団選任

議長：錠内会長

副議長：福留事務局長

議事録署名人：錠内会長、清宮監事、遠藤理事

V. 配布資料

事務局／財務／監事／学術部／教育部／広報部／福利部／地域リハ部／制度対策部／ウェブサイト管理委員会／学会評議委員会／MTDLP 推進委員会／認知症事業対策委員会／渉外／会議参加報告／部・委員会別事業計画達成状況

VI. 回覧資料

「病院から在宅へのチームサポートを行うための手引き」 一般社団法人 ALS 協会

「2016 年度認知症を進行させない！物忘れ予防ノート」 ナツメ社

VII. 報告・検討事項

1. 事務局（福留事務局長）

(1) 報告事項

1) 渉外

- ・公益社団法人かながわ福祉サービス振興会「介護人材確保対策推進会議（仮）」委員推薦の依頼→錠内会長
- ・医療専門職連合会第 128 回定例理事会
- ・神奈川県病院医療関係団体連絡協議会→奥原理事・野々垣理事が出席

2) 行政および職能団体関連

- ・会員派遣依頼→依頼なし

3) 後援名義使用依頼済み

- ・神奈川県在宅医療推進フォーラム運営委員会より市民公開講座の後援依頼→承認済み
- ・リハビリフェスタ 2016 県西地区リハビリテーション連絡協議会→承認済み

平成 27 年度 第 3 回理事会

4) 他団体より研修会等周知依頼

- ・南区在宅療養支援ネットワーク会 第2回総会
- ・認定作業療法士取得 選択研修 追加研修3 老年期障害の作業療法(大阪)
- ・認定作業療法士取得 選択研修 追加研修2 老年期障害の作業療法(東京)
- ・認定作業療法士取得 選択研修 追加研修1 身体障害の作業療法(東京)
- ・今後の地域保健活動を見据えて、市町村との連携の方法を考える
- ・いきいきと暮らすためのリハビリテーション～地域包括ケアを支えるために～
- ・第14回神奈川県介護支援専門員研究大会
- ・かなりはフェスティバル 2015
- ・障害保健福祉領域 OT カンファレンス in 別府
- ・平成 27 年度 3 団体合同研修会 「自立支援のためのケアプランニングと訪問・通所リハビリテーションの役割について」
- ・「地域ケア個別会議(模擬研修会)」に関するモデル研修
- ・平成 27 年度頸髄損傷者に対するリハビリテーション研修会
- ・山梨県作業療法士会 第 7 回学術大会
- ・チラシの作り方講座
- ・シーズ・ニーズマッチング交流会 2015
- ・第 18 回群馬県作業療法学会
- ・リハビリテーションフォーラム 2015 part2

5) OT 協会関連

横浜で開催された WFOT 世界大会の報告書をデータ配信。(協会ホームページにもアップ)

6) 庶務関連

10 月 6 日より事務員の松村啓子さんが勤務(会計係り)

7) 代議員選挙の件

代議員スケジュールの確認

8) 総会の件

- ・平成 28 年 5 月 14 日土曜日で調整中
- ・場所:ユニコムプラザさがみはら(相模原市南区相模大野 3 丁目 3 番 2 号 bono 相模大野サウスモール 3 階)
- ・時間:13:00~17:00 の間で調整 →再度、他理事にも確認予定

(2) 審議事項

1) 再入会の審議

- ・39728 平瀬ゆりか 自宅
- ・61844 河野 桂子 介護老人保健施設 ほほえみの郷 横浜
- ・25854 菅原 敬 東海大学医学部付属病院
- ・60926 遠藤 雅俊 ふれあい平塚ホスピタル →承認

2) 正会員入会申込書

性別、OT 協会に「手続き中・未加入」という欄を追加した。→承認

OT 協会→正式名称の方が良いという意見あり(日本作業療法士協会)

2. 財務部（福留事務局長が代理で報告）

(1) 報告事項

1) 来年度予算編成の工程

- ・12月までの会計ファイルを基に今年度の予算消化率一覧作成（財務部）
- ・1月10日までに来年度事業計画案・予算案提出（各部門理事）
- ・1月15日に三役会開催：予算消化率・事業計画・予算案検討（三役・財務）
- ・2-3 月中に各部門と調整の上、来年度事業計画・予算案決定
- ・4 月中に平成 27 年度期末監査実施・決算書作成
- ・理事会・総会を経て早期の新年度会計開始をめざす
- ・予算案作成のお願い：根拠を明記（例：会議費；○回開催、研修会；○回開催・1 回当たりのスタッフ数、イベント：○人対象・1 回当たりのスタッフ数等）

*1月10日までに来年度事業計画案・予算案の提出（各部門理事）。予算案作成時の根拠明記用のフォーマットを作成中→理事メールで流す。

(2) 審議事項

部員追加承認：新山祐貴（小田原市立病院）→承認

3. 監事（清宮監事）

1) 神奈川県作業療法士会 中間監査報告

監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていることを認める。

尚、事業達成度があいまいであり、目標達成に関する記述を統一していく。（提案：30%、50%、100%に大きく分ける。） →三役会で今後検討していく

4. 学術部（鴻井理事）

(1) 報告事項

1) スキルアップ研修事業（講習会）身体系 6、精神系 1

・「高次脳機能障害の基礎 ～半側空間無視・記憶障害編～」早川 裕子先生 作業療法士（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）、平成 27 年 10 月 25 日（日） 13：30～16：30、福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 12 階研修室（126-127）、受講料 2,000 円、参加数 81 名（受講者 73 名、部員 8 名）

・「働きやすい職場作りと起業のコツ ～プロに聞く、実践マネージメント～」川本 愛一郎 先生 作業療法士 言語聴覚士（有限会社 リハシップ あい）、平成 27 年 11 月 20 日（金） 18：45～20：45、横浜市開港記念会館、受講料 2,000 円、参加数（現在申込み人数）22 名（定員 30 名）

・「家族と支える、家族を支える」内山 繁樹 先生（関東学院大学看護学部）・松本 やす子 先生 家族ピアサポート相談員（浜家連常任理事）、平成 27 年 11 月 29 日（日） 13:30～16:30、福祉保健研修交流センター ウィリング横浜、受講料 2,000 円、参加数 40 名

・「徹底現場主義！ 実習指導を考える」佐藤 良枝 先生 作業療法士（曾我病院）・藤本 一博 先生 作業療法士（茅ヶ崎新北陵病院）・石川 哲也 先生 作業療法士（済生会神奈川県病院）、平成 27 年 11 月 29 日（日） 13:30～16:45、横浜リハビリテーション専門学校 8 階 講堂、受講料 3,000 円、参加数（現在申込み人数）25 名（定員 120 名）

・「急性期の脳卒中について（仮）」酒井 由香里 先生 作業療法士（横浜新都市脳神経外科病院）他 医師 1 名、平成 27 年 12 月 13 日（日） 13:30～16:45、横浜 YMCA 学院専門学校、受講料 2,000 円、参加数（現在申込み人数）50 名（定員に達したため申込み終了）

平成 27 年度 第 3 回理事会

・「作業療法士が知っておくべき嚥下機能の評価・治療（仮）」佐藤 彰紘 先生 作業療法士（目白大学）、平成 28 年 1 月 16 日（土） 13:30～16:45、福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 12 階研修室 126、受講料 2,000 円、参加数 50 名

・「手指の評価・治療について（仮）」鴻井 建三 先生 作業療法士（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、開催日未定、横浜市立大学附属市民総合医療センター、受講料 3,000 円、参加数 50 名

2) 研究助成事業

・赤塚 花実：『意味のある作業への参加促す作業療法の治療戦略に関する研究』⇒内定

研究助成対象者決定後は、財務部と対象者間で一度、財務関係の確認会議を実施予定。

*11 月 20 日以降の講習会に関しては周知依頼あり。今後は監事からの提案に則り達成度を報告していく。

5. 教育部（福留事務局長が代理で報告）

(1) 報告事項

1) 研修会開催報告

a 現職者共通研修（1 テーマ 1,000 円）

・第 1 回 10 月 10 日（土） 場所：横浜リハビリテーション専門学校

「作業療法生涯教育概論」講師 奥原孝幸 氏（県士会教育部・神奈川県立保健福祉大学、50 名）

「作業療法の可能性」講師 錠内広之 氏（日本鋼管病院、県士会会長、51 名）

「職業倫理」講師 福留大輔 氏（イムス横浜狩場脳神経外科病院、県士会事務局長、54 名）

・10 月 11 日（日） 場所：横浜リハビリテーション専門学校

「作業療法における協業・後輩育成」講師 岩上さやか 氏（国際医療福祉大学、45 名）

「事例報告と事例研究」講師 水野 健 氏（神奈川県立保健福祉大学、48 名） 計 248 名

b 事例報告登録制度に関する研修会（現職者共通研修と組み合わせて、神奈川県士会独自開催）

10 月 11 日（日）（現職者共通研修終了後） 場所：横浜リハビリテーション専門学校 46 名

2) 今後の開催予定

a 第 2 回現職者共通研修 11 月 23 日（月・祝） 場所：ウィリング横浜

「実践のための作業療法研究」講師 鈴木久義 氏（昭和大学）

「保健・医療・福祉と地域支援」講師 木下 剛 氏（済生会横浜市東部病院）

「日本と世界の作業療法の動向」講師 神保武則 氏（北里大学病院）

b 現職者選択研修

・身体障害領域 場所：ウィリング横浜

「身障領域の基礎知識」講師 白賓勲二 氏（神奈川県立保健福祉大学） *賓→濱

「脳血管障害」講師 田邊浩文 氏（湘南医療大学）

「神経筋、内部障害（癌、呼吸器、循環器、膠原病）」講師 神保武則 氏（北里大学病院）

「筋骨格系・外傷」講師 大森みかよ 氏（聖マリアンナ医科大学病院）

・精神障害領域 場所：ウィリング横浜

「精神障害作業療法の基礎知識」講師 川口敬之 氏（北里大学）

「精神障害作業療法関連のトピックス」講師 川口敬之 氏（北里大学）

「精神障害作業療法の展開方法」講師 武井寛道 氏（藤沢病院）

「精神障害作業療法の実践」講師 武井寛道 氏（藤沢病院）

3) O T 協会教育部生涯教育委員会 生涯教育推進担当者会議 出席報告

内容生涯教育制度の現状報告と生涯教育制度と生活行為向上マネジメント (MTDLP) 制度との関連、来年度生涯教育制度改定あり。

以下県士会レベルで必要なこと

- ・現職者選択研修の内容変更

現職者選択研修内にMTDLPを独立させて必修テーマとし、MTDLP基礎研修とする。他は現行の4領域(身障、老年期、精神、発達)から1領域を選択して修了とする。*現職者選択研修の内容を検討

- ・MTDLP研修は基礎研修と実践者研修に分けてそれぞれ修了証が発行されている。

統合されてMTDLP研修修了とする。MTDLP事例報告することで現職者共通研修の「事例報告」を受講したこととする。*これを認めるか要検討

*今回は情報提供のみにて、今後MTDLP委員会とも協議して内容を検討予定

(2) 検討事項

部員承認 金木貴芳(日吉病院)→承認

6. 広報部(神保理事)

(1) 報告事項

1) 今後のニュース発行予定:177号は12月15日〆切(予定)

2) ニュースやり取りに関するご協力:出口班長が中心に窓口として実施。今後部員も窓口へ。

3) 176号(11月発刊)スケジュールについて

・校正:修正11月9日(月)〆切、校了:11月13日(金)

・チラシ 事務局:高橋さんまで(チラシ封入予定がある場合は部数を事務局へ連絡;11/9(月)12:00〆切)、レイアウト済みデータ締切 11/10(火)12:00、印刷済みチラシ現物到着 11/18(水)必着(高陽印刷所へ直接送付) 請求は各部へ。

・発送予定 11月25日(水)

4) 176号(11月号)について

・理事紹介:9月号でご紹介できなかった理事紹介(監事 清宮理事)

・新部署紹介:認知症対策委員会(*公益法人化対策委員会については3月に依頼予定)

・その他ご執筆依頼 11月中旬を予定。締め切りは12月中旬。

・対外広報班の活動報告 および今後の活動予定など

5) 一般県民向けの企画:ハローヨコハマ(横浜市中区区民祭り)医療連合会合同ブース出展→澤口副会長・名古屋理事が医療連合会事務局として参加、対外広報班4名参加。

6) 県士会パンフレット増刷予定

日本語版県士会パンフレット残数が少なくなっているため、内容更新・増刷予定。

*学生向け資料配布に伴い部数の確認を依頼。

7) 広報促進グッズの作製:NPO法人たくみ21より「片手で結べる靴ひも」自助具を新しい配布用自助具として試作中。

8) 活動計画

・神奈川県介護支援専門員研究大会(小田原) 1月16日土曜日 ブース出展予定

・地域リハビリテーションフォーラム(2月予定か?)

・来年度の4月上旬 相模原桜まつりの準備

・学生啓発 さくらノートへの出演計画・準備 *さくらノートに関しては目的を明確化していく

平成 27 年度 第 3 回理事会

- ・学生啓発 新宿セミナーでの職業講和について担当者へ打診中

(2) 審議事項：特になし

7. 福利部（吉本理事）

(1) 報告事項

1) 求人・求職の登録および情報提供（2015 年 8 月 31 日～11 月 8 日）：新規掲載依頼：のべ 51 件、変更依頼：のべ 7 件、削除依頼：15 件、問い合わせ：2 件（対応済み）

2) 新入会員オリエンテーション&歓迎会：参加者 会員 34 名、理事・役員 9 名、福利部 9 名（計 52 名）

3) 表彰関連

- ・神奈川県保健衛生表彰（7 月依頼。該当候補者を推薦。）

浅井憲義先生(医療法人社団永生会 永生クリニック研究開発センター, 北里大学名誉教授) 11/24(火) 14 時～ 神奈川県庁本庁舎 大会議場

- ・神奈川県平塚保健福祉事務所長表彰（7 月依頼） 期間が非常に短く(1 週間)推薦を断念。連絡済み

- ・厚生労働大臣賞(9 月依頼)OT 協会より依頼あり。該当者なしで連絡済み。

・OT 協会 特別表彰(9 月依頼) 候補者：渡邊慎一 先生(社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター)

4) 新入会員増加推進 事務局と合同で検討

・卒業生へ向けての県士会の広報チラシの作成と養成校への配布（県士会の魅力の広報と、入会への案内を 2 月末頃配布する予定。）養成校所属理事より、学生への配布 →2 月 29 日に間に合うように配布（入会届も同封）

- ・入会方法と 6 月新入会員向けの学術研修会企画案内の県内病院・施設への配布

6 月に新入会員向けの学術研修会企画し、入会の仕方チラシを現在 OT が所属している病院・施設へ来年度 4 月以降に配布予定。

- *就職先が県外の可能性があっても県内養成校卒業生全員に配布

- ・簡便・迅速な入会方法の検討

(2) 審議事項：なし

8. 地域リハ部（遠藤理事）

(1) 報告事項

1) 研修報告

・地域リハビリテーション人材育成研修会（内容：生活行為向上マネジメント、認知症初期集中支援チーム参加者：34 名うち 3 名学生）

2) 研修会企画

・「ALS 者のコミュニケーション支援講習会」平成 28 年 3 月 5 日（土）、横浜リハビリテーション専門学校（予定）

3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

・「神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会」平成 27 年 11 月 14 日（土）～15 日（日）、14 日→横浜リハビリテーション専門学校・15 日→横浜スタジアム前ビル ⇒100 名定員達したため募集を終了

・「神奈川県訪問リハビリテーション学術集会」平成 28 年 1 月 9 日（土）、川崎市産業振興センター、テーマ：～とことん地域密着!!100%県民還元～ ⇒演題募集済み

4) 相談役会：PT 士会事務所にて相談役会実施、来年度の予算と協議会の現状報告、各会長からの士会報告

平成 27 年度 第 3 回理事会

5) その他

- ・三協会合同主催 地域ケア会議の研修会：都道府県が三士会合同で研修会を行う案あり。情報収集。
*地域ケア会議の研修会に参加した会員名が分かれば教えてほしい
- ・神奈川県介護予防従事者研修：介護予防従事者研修会を昨年同様に OT 士会協賛で参加、平成 27 年 11 月 28 日（土）～29 日（日）：横浜・川崎（横浜国立大学）・平成 28 年 1 月 16 日（土）～17 日（日）：県西・湘南（平塚商工会議所）参加募集：横浜・川崎終了。
*1 月 16～17 日の介護予防者研修の手伝いを数名確保したい。
- ・横浜市地域リハビリテーション活動支援事業：11 月からモデル地区の 2 区の地域支援事業が開始。

(2) 審議事項

部員佐藤 夢莉耶（茅ヶ崎新北陵病院）→承認

9. 制度対策委員会(野本理事)

(1) 報告事項

- 1) PTOT 福祉用具スキルアップ研修会 基礎編 終了（OT 参加者 9 名；募集定員 10 名）
- 2) PTOT 福祉用具スキルアップ研修会上級編 11/8(日)、12/5(土) 開催予定
- 3) 国際福祉機器展「ふくしの相談コーナー」協力。福祉用具班班員 10 名派遣。3 日間で 98 件の相談に対応。

(2) 審議事項：部員承認（主に社会制度対策班に所属予定）

工藤美幸 茅ヶ崎新北陵病院

奥村容子 介護老人保健施設 ふれあいの桜 →承認

10. ウェブサイト管理委員会（作田理事）

(1) 報告事項

- ・県士会サイトの管理とアクセス件数
- ・原稿依頼：未更新の部は
- ・11 月中に原稿提出
- ・記事の掲載方法について
- ・メールアドレス、メーリングリストの発行について

11. 学会評議委員会（内山理事）

(1) 報告事項

1) 第 16 回神奈川県作業療法学会 第 1 回実行委員会

学会日時：2017 年 7 月 2 日（日）、午前 9 時 30 分～17 時、会場：神奈川県保健福祉大学（講堂および教育研究棟 4 階）、テーマ：選択する未来、学会長印、引継ぎ文書（デジタル）、学会備品送付済み

2) 第 2 回神奈川県臨床作業療法大会 第 6 回実行委員会

- ・大会日時：2016 年 8 月 7 日（日）、9 時～17 時、会場：藤沢市民会館（本契約 6 ヶ月前）、後援：藤沢市、テーマ：「作業療法士のしてん～視点・支点・始点～」大会キャラクター：しょーにゃん、でんでん
- ・広報活動：ホームページアップ済（テーマ、実行委員、大会長挨拶、会場）
- ・事務局・庶務：レンタルフォン使用せず、クローバーホスピタルリハ室直通電話を使用。当日は、市民会館の電話使用。
- ・企画運営：講演・講師の進捗状況；「脳画像診断」前田眞治先生（Dr）内諾済
- ・演題募集期間：平成 27 年 12 月～平成 28 年 3～4 月、個人情報の取り扱いは日本作業療法士協会の倫理要

綱に準じて倫理要綱を踏まえた書類作成必要。

3) 倫理審査委員会の設置 (案)

- ・学会・大会の下部機関として倫理審査委員会 (仮名) を設置する。
- ・演題発表までの手順：①演題発表は発表登録者が勤務施設や通学している大学等で倫理審査を受けて了承済みであることを証明できることを持って、発表申込が可能となる。②1) 倫理審査を受けないが発表を希望する者は、学会・大会に設置した倫理審査委員会で事前に倫理審査を受けて承認を得た後に発表申し込みを可能とする。③1) 及び 2) 以外の発表申込は原則的に受け付けない。発足当初は倫理委員会のメンバーの中に大学勤務の正会員、倫理審査に現在も関与している方を数名入れていく。
- *倫理審査を演題採択委員会や査読者で担うのは厳しい。鈴木久義先生 (規約委員会理事) に担ってもらうことも検討している。同意書などで留めておく対応も検討していく。

4) 学会及び大会の表彰について

- ・優秀な発表者への表彰 (レジメ、発表の両方とも秀でている)
- ・座長 (条件は今後検討へ)
- *表彰に関しては、県士会としてか学会としてかのすみわけをはっきりさせる必要あり。規約・基準の作成も必要。
- *県士会員が関わるバリアフリーや省エネに関する事業は補助金がもらえる可能性あり。(錠内会長より)

12. MTDLP 推進委員会 (福留事務局長が代理で報告)

(1) 報告事項

- 1) 研修会開催予定：事例発表 1/31(日) 3/6(日)、基礎研修 2/7(日) 3/19(土)
- 2) 加算要件など
 - ・生活行為向上リハビリテーション加算の要件：生活行為向上マネジメント概論 90min + 演習 330min ⇒ 基礎研修修了、基礎研修修了後 1 年以内に事例投稿もしくは事例発表 ⇒ 実践者研修修了
 - ・来年度 (H28 年度) 以降、「生活行為向上マネジメント研修会」に統合
 - ・熟練者 ⇒ 指導者 に名称変更
- 3) OT 協会のグランドデザイン
 - ・H28 年終了時まで達成する目標：基礎研修修了者⇒会員数の 60%、実践者研修修了者⇒会員数の 30%、指導者⇒会員数の 5%
 - ・現在 (8/31 時点) の神奈川県士会の基礎研修修了者数 241 名 13.7% (会員数 1,755 名)
- 4) 地域リハビリテーション活動支援事業 (横浜市) について

横浜市の独自の事業「元気づくりステーション」への OPS の派遣を以って介護予防に資する取り組みを実施するもの。今年度はモデル地区 (港北区、磯子区) で実施。来年度以降は全区で実施。OT は MTDLP 研修会を受講済みの方を派遣していく予定。内容は「生活行為確認表」と「興味関心チェックシート」を使用して、生活行為の不具合を早期に解決すると共に意欲的な生活が送れることを支援する。今後協力施設の募集が課題となる。

(2) 審議事項：なし

13. 認知症事業対策委員会 (村越理事)

(1) 報告事項

- 1) 活動報告：情報収集
 - ・認知症をにんちしよう会イベント (小田原市 認知症を認知しよう会イベント実行委員会)、実行委員会委

平成 27 年度 第 3 回理事会

員長 武井和夫医師 小田原医師会理事、来年度は認知症対策委員会の参加検討

・今後の情報収集：県内の各地域での認知症イベント開催状況、各市町村での取り組み、オレンジカフェ開催状況、県内の認知症治療、ケアのサービス状況

(2) 検討事項：部員承認

石山 亜希子さん いきいきクリニック

丸山 祥さん ふれあい平塚ホスピタル →承認（石山さんは会費未確認）

以上（文責：大郷、井戸川）

会議終了時間 20 時 40 分
次回の理事会開催日時 平成 27 年 2 月 10 日（木）19 時より
開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301
TEL/FAX 045-663-5997

議事録署名人	議長	錠内広之	印
	監事	清宮良昭	印
	理事	遠藤陵晃	印